

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和3年11月号）

令和3年11月1日

あっという間に秋深し。あちこちの紅葉だよりが気になりますね。

さて、今回も活動のお知らせです。

11月14日（日）09:00～10:30 南口電停脇花壇「みんなの庭」ではパンジー、ビオラなど冬～春花2百株以上を用意して植え替えをいたします。お好みの花苗の持ちより大歓迎です。なお、事前に前川種苗さんをお願いして土起こしと肥料入れをしておきます。

12月は12日（日）、来年1月は16日（日）の予定です。

〇トピックス：

— 春に植えた北口ロータリー脇のハクモクレンが枯れてしまった件（先月号ご参照）については、ご提供者ライオンズクラブ様が植え替えをご計画のよしです（高知市みどり課）。

— 枯死したカナリーヤシ（南口電停そば。「お知らせ」6月号ご参照）のあとをどうするかについて、市役所内で「代わりに花を植える」案が出ているそうです。私どもからは「長年みんなに親しまれてきたシンボルツリー（右の写真）が消えるのは悲しい。出来たら同じヤシの木か、或いは高知市の木センダンを植えてはいかがでしょうか？」と提案いたしました。ぜひ前向きにご検討願いたいと思います。



ありし日のヤシの木(右端)

— 「みんなの庭」秋の花だより（秋桜、桔梗、シュウメイギク）



駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ： <http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

緑のまちづくりを考える（53）

高知市都市美デザイン賞、特賞に県立大学永国寺キャンパス

去る10月4日、高知市が主催する第37回都市美デザイン賞の表彰式が行われ、高知県立大学永国寺キャンパスが特賞を受賞しました。

市景観審議会は永国寺キャンパスを「塀で敷地を囲わないことで地域との風通しが良く、中心を芝生広場にして緑あふれる空間が生まれた」と称賛、建造物の高さを抑制して高知城周辺の眺望を確保した点も高評価につながったとしました。

（10月5日付高知新聞報道より）



特賞に輝いた永国寺キャンパス(高知市ホームページより)

「景観づくりはまちづくり」と言われます。景観は、建物・敷地の持ち主の「私財」ではなく、住民みんなの「公共財」。また、多くの旅人を惹きつける「観光資源」でもあります。そして、主役あるいは名脇役として、そこには必ず「緑」の存在が。高知市による今回の特賞選定に大きな拍手を送りたいと思います。

この機会に、お城の写真を二つばかりアップしてみました。左下の写真は、西側の高知地方裁判所敷地内（丸の内1丁目）から撮った西日に映える森とお城。右下は永国寺キャンパス（お城の東側、丸の内2丁目）からの夕景です。高知が城下町であることに改めて気づかされます。



新図書館（オーテピア）西敷地の景観はどうなる？

高知市が取り組んでいる新図書館西敷地の利活用事業については、早ければ年内にも民間の「事業提案」募集開始となる模様です。「実施方針（案）」が7月末に明らかになりましたが、多くの市民が求める「広場」を、わずかに「500㎡（敷地の5分の1）以上」としたのが気にかかります。地権者（市）の賃貸収入という損得勘定を一步も二歩も踏み越えた議論と審議が、市民はもちろん、市議会、景観審議会などによって尽くされることを期待します。

おわり